

# 第3回公開シンポジウム

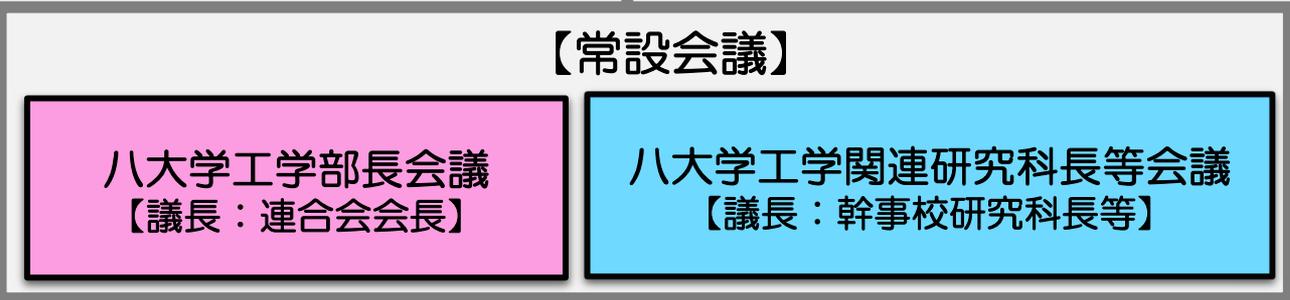
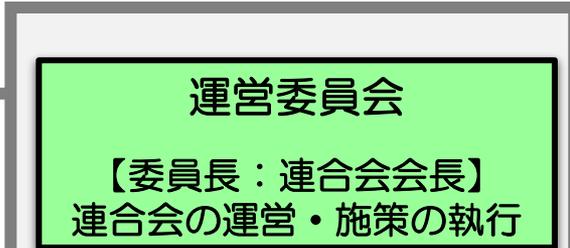
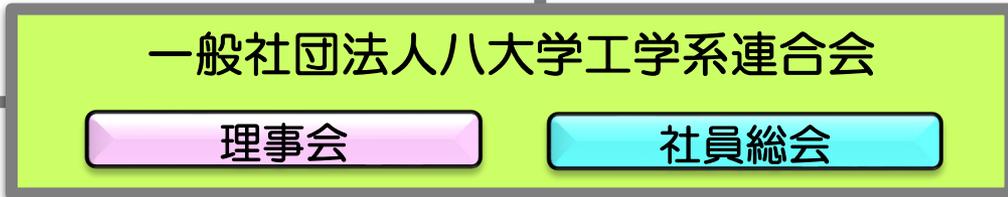
## 工学系大学院生の就職活動を考える(3)

2021年3月15日  
(オンライン)

一般社団法人八大学工学系連合会

# 八大学工学系連合会

八大学に所属する工学系の学部・研究科等が連携して、教育・研究・運営のあり方等について継続的な議論を進めるとともに産官学の直接的な対話を促進し、対外的な意見や要望を発信することをもって、会員大学ひいては我が国における工学教育、学術研究、科学技術等の発展に寄与することを目的に活動しています。



# 学部・大学院の卒業・修了者数（平成26年度）

出展）文部科学省平成26年度学校基本調査

八大学は全国の

9.3%

27%

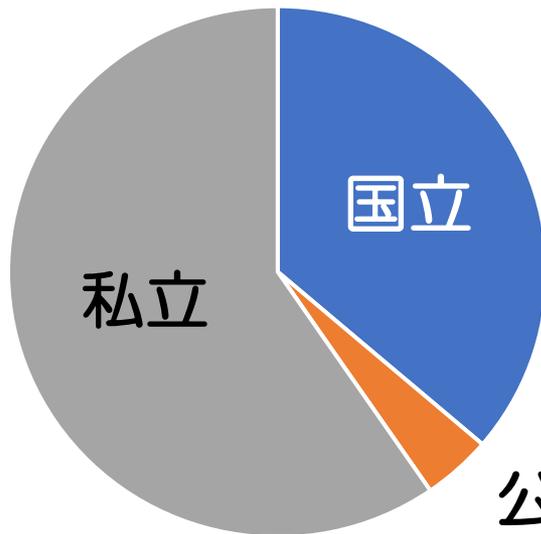
63%

学部：86,000人

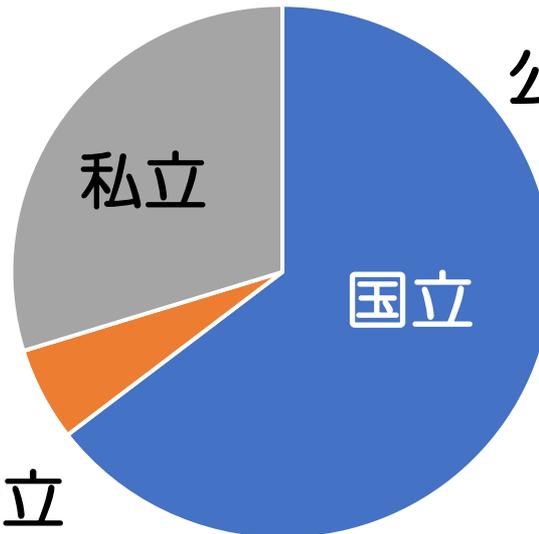
修士：31,000人

博士：3,500人

工学

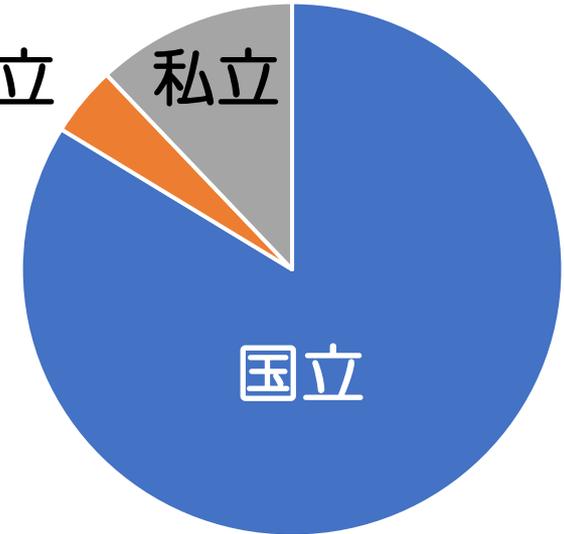


公立



公立

私立



# 八大学工学系連合会からの提言

我が国の発展を支える優秀な留学生人材の育成と定着

我が国の産業競争力強化に工学教育が一層貢献するために  
(博士人材の確保とリーダー人材育成について)

2015年5月13日

4月20日

平成27年10月22日  
一般社団法人八大学工学系連合会  
(八大学工学部長会議)

2016年5月26日  
八大学工学系連合会

を支える優秀な外国人の確保・育成・定着がその成長戦略(未来投資会議)においても、「高度題の一つとして挙げられている。この方策を実

八大学工学系連合会

我が国の基礎研究力強化に向けて  
(イノベーションの源泉、学術研究・基礎研究の推進について)

2016年5月26日

九州大学大学院工学研究院長・工学部長 高松 洋

は、大学が我が国の工学分野における学術研究・世界に貢献し続けるために、ここに基礎研究力

踏まえ、本提言は「我が国の発展を支える優秀での課題を明らかにするとともに、それを解決ものである。

者では、「我が国の基礎研人材育成から大学の基礎研

我が国の発展を支える優秀な留学生人材の育成と定着  
(海外人材獲得の大競争時代に向けて)

2017年5月10日

世界を牽引する四半世紀が経たない間に、個性化の重点領域はその中心領域に進んできた。我が国の少子高齢化

が複雑化し、産業力のグローバル競争は激化の一途をたどるという情勢のもと、高度科学技術人材への期待は益々高まっている。

これまで、新産業創出に向けた高度専門職人材の育成について幾多の議論が展開されてきたが、我が国における産学連携の機能が主に「産業界のニーズと学

ズ」という視点が置かれていて、未来社会を変革する高度な専門性、

が多かった工学系において減少の度合いが大きいより読み取ることができる。さらに、論文のレベル%論文及び上位1%論文の、2001-2003年期間から

を画し、優秀な留学生人材の育成と定着に、予備教育、スクリーニング(セレクション)を副次的に国際的産官学連携事業を推進するリエ八大学合同海外拠点の設置と整備を要請する。

経済産業省、学協会、業界団工学人材の育成戦略に関す

高度工学系人材育成への産業界の参画と支援  
(イノベーション創出の中核的リーダー人材育成のために)

2018年5月9日

人材である。る研究者」でし、この課題

を自らの力で解決する能力をもつ人材」という基本認識が定着している。すなわち、自ら

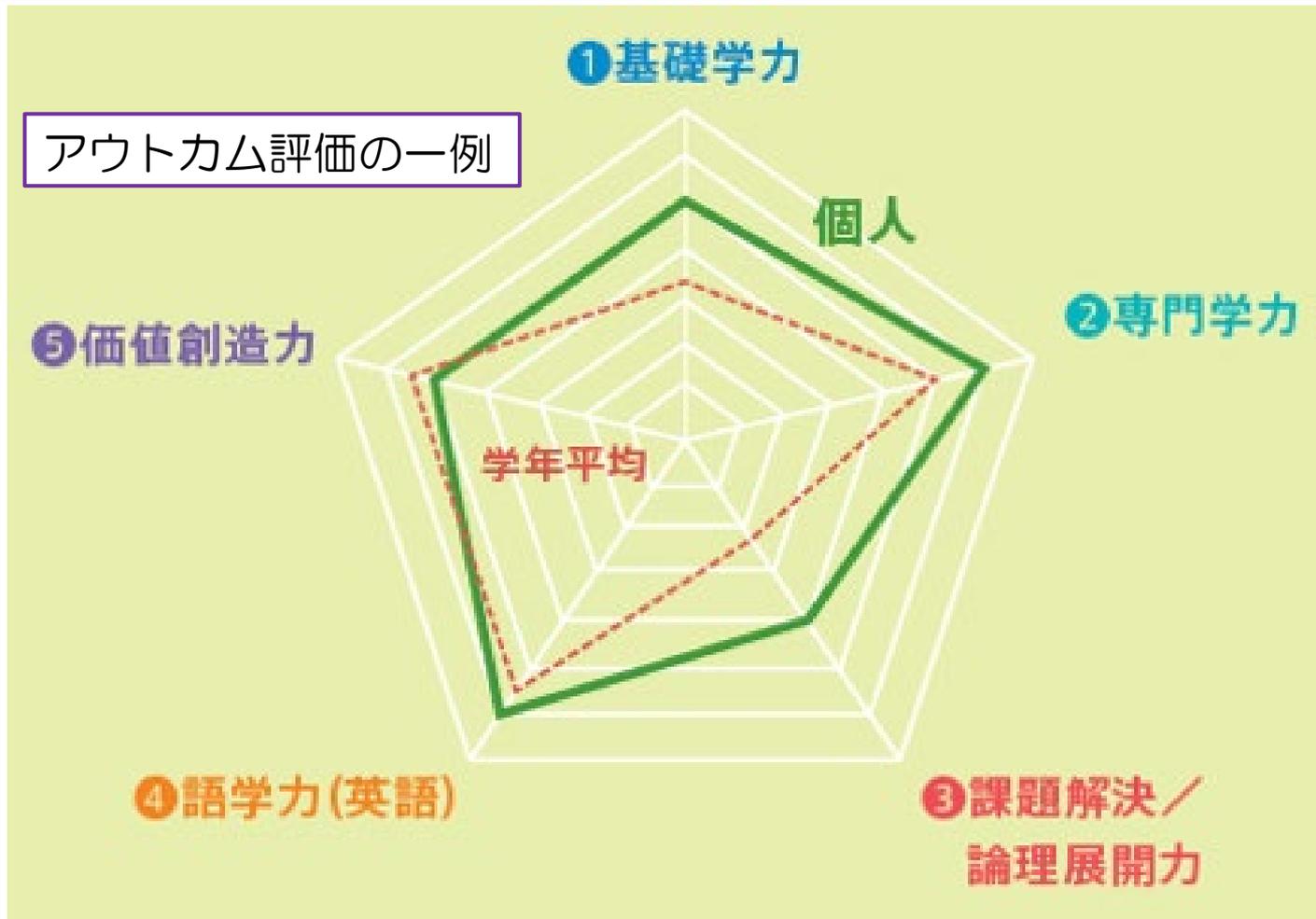
# 就職活動問題への取り組み（経緯）

- <2018年 春>工学系人材育成の観点から「就職活動の問題」への取り組み開始。
- <2018年 9月>経団連が就活ルール廃止の意向。各方面を巻き込んだ議論に。八大学で就職活動に関する具体的なテーマの議論をスタート。
- < 同年 12月 >教育現場における就職活動の実態を訴える**第1回**シンポ開催。
- <2019年前半>経団連「採用と大学教育の未来に関する産学協議会」設置。4月22日に中間とりまとめ・共同宣言、6月25日にシンポ開催。
- <2019年 9月>八大学、就職活動の実態調査&対応策の検討事業の着手。
- < 同年 11月 >**第2回**公開シンポジウム開催。八大学からの声明発表。
- <2020年 春~> Covid-19 パンデミックが採用・就職活動に影響
- <2020年 秋~> 八大学、採用・就職活動の変容実態調査・分析
- <2021年 3月 > 本日の**第3回**公開シンポジウム。

# 開催趣旨とお願い

八大学工学系連合会メンバーの大学院は科学技術立国を支える高度工学系人材の育成を担っています。本シンポジウムは、工学教育・研究の現場における就職活動の実態をご報告し、工学の研究者・技術者を目指す大学院学生が修学・研究に集中できる環境の確保、さらには今後の高度工学人材育成のあり方について議論させて頂きます。熱心なご議論をよろしくお願いします。

# 教育の質保証の強化（大学側の努力）



企業様に安心して学生をリクルートして頂けるよう、各科目の単位・スコアの積み上げだけではなく、アウトカムの定量評価によって教育の質（育成人財の質）を保証していきたい。